

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2026年6月4日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値	備考
OOT89 4 (OT89 2)	TruSight Oncology Comprehensive パネルシステム 8D027-9957-075-966	裏面 参照	Z10 (t)	室温	19~34	①② ③④⑤ 44000 + 12000 ※2	次世代シーケンス (NGS) 法		裏面 参照

※2：遺伝子関連・染色体検査判断料

- ①別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において実施した場合に限り算定する。
- ②「がんゲノムプロファイリング検査」は、包括的なゲノムプロファイルの取得を行う場合に、検体提出時に患者1人につき1回に限り算定できる。
- ③標準治療がない固形がん患者又は局所進行若しくは転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者(終了が見込まれる者を含む。)であって、関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態及び臓器機能等から、当該検査施行後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した者に対して実施する場合に限り算定できる。
- ④「がんゲノムプロファイリング評価提供料」は、別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険医療機関において、「がんゲノムプロファイリング検査」の結果について、当該検査結果を医学的に解釈するためのがん薬物療法又は遺伝医学に関する専門的な知識及び技能を有する医師、遺伝カウンセリング技術を有する者等による検討会での検討を経た上で患者に提供し、かつ、治療方針等について文書を用いて当該患者に説明した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。
- ⑤抗悪性腫瘍剤による治療法の選択を目的として他の検査を実施した場合であって、当該他の検査の結果により「がんゲノムプロファイリング評価提供料」を算定する場合は、所定点数から当該他の検査の点数を減算する。



● TruSight Oncology Comprehensive パネルシステム

本検査は、TruSight™ Oncology Comprehensive パネルシステムを用いたがんゲノムプロファイリング検査です。

次世代シーケンス解析によって固形がん患者の腫瘍組織中の500以上のDNAに生じた遺伝子の変異（Single Nucleotide Variant、Multiple Nucleotide Variant、Insertion、Deletion、Amplification）またはRNAにより生じた遺伝子の変異（Fusion、Splice Variant）を一括検出して得られたがん患者様のゲノムプロファイリング結果を報告いたします。

▼疾患との関連

固形癌

▼関連する主な検査項目

FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル
NCC オンコパネルシステム
FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル
Guardant360 CDxがん遺伝子パネル

▼検査要項

検査項目名	TruSight Oncology Comprehensive パネルシステム
項目コード (旧項目コード)	OOT89 4 (OT89 2)
検体量	未染標本スライド 10枚 厚さ5 μ m または 5枚 厚さ10 μ m と HE染色スライド 1枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	19~34 日
検査方法	次世代シーケンス (NGS) 法
基準値 (単位)	
検査実施料	44000点+12000点 (「D006-19」がんゲノムプロファイリング検査、 「B011-5」がんゲノムプロファイリング評価提供料)
判断料	100点 (遺伝子関連・染色体検査判断料)
備考	<p>重凍</p> <p>本検査はがん患者由来のホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 腫瘍組織検体から抽出したDNA・RNAを用いたゲノムプロファイリング検査です。 未染標本スライドおよびHE染色スライドをご提出ください。検査に必要な腫瘍細胞の割合は20%以上です。未染標本スライド提出に際しての留意事項は検体作製ガイドおよび総合検査案内巻末の「容器の取り扱い方法」56ページをご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 凍結保存は避けてください。 あらかじめTSO Comp.ポータル (以下、専用ポータル) のアカウントを申込のうえ取扱説明書に準じご依頼ください。 ご依頼にあたっては、専用ポータルより依頼情報入力、専用依頼書および検体貼付ラベルを出力してください。 検査結果報告書は専用ポータルより受領してください。 測定および解析状況によっては所要日数が変わる場合があります。</p> <p style="text-align: right;">&t</p>

●参考文献

角南 久仁子, 他 : がんゲノム医療遺伝子パネル検査実践ガイド 第1版 (医学書院) : 225, 2020. (検査方法参考文献)
Wei B, et al : J Mol Diagn 24 (6) : 600~608, 2022. (臨床的意義参考文献)